

課題名	36. ビワ果実着色期の温度と果実障害の発生について																																																																		
成果の要約	へそ黒症、へそ青症、しなび症は、着色期の温度が25℃以下では発生しなかった。障害の種類は着色程度によって異なる傾向にある。																																																																		
成績概要	<p>ビワ果実の着色程度、着色期の温度と果実障害の関連について調査した。</p> <p>1) 温度は35℃の3時間で障害が発生したが、25℃では発生しなかった。</p> <p>2) しなび症は8～9分着色で多く、へそ黒症は9分着色果でのみ発生し、へそ青症は6～8分着色果が9分着色果より多くなった。</p> <p>第1表 果実の着色程度、温度と果実障害果の発生</p> <table border="1" data-bbox="205 964 1579 1409"> <thead> <tr> <th rowspan="2">着色程度</th> <th colspan="3">果実障害果の種類</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>へそ青症 (%)</th> <th>へそ黒症 (%)</th> <th>しなび症 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td rowspan="5">温度35℃ 3時間処理 障害果の発生率は果実の完着時に調査</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>2.4</td> <td>0.0</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>4.8</td> <td>0.0</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>4.8</td> <td>0.0</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2.4</td> <td>4.8</td> <td>21.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2表 温度と果実障害果の発生</p> <table border="1" data-bbox="205 1513 1579 2018"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処理温度</th> <th rowspan="2">着色程度</th> <th colspan="3">果実障害果の種類</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>へそ青症 (%)</th> <th>へそ黒症 (%)</th> <th>しなび症 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">25℃</td> <td>0-6</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td rowspan="3">温度継続時間6時間</td> </tr> <tr> <td>30℃</td> <td>77.8</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>35℃</td> <td>100.0</td> <td>0.0</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">25℃</td> <td>7-9</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td rowspan="3">温度継続時間6時間</td> </tr> <tr> <td>30℃</td> <td>33.3</td> <td>0.0</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>35℃</td> <td>0.0</td> <td>40.0</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table>	着色程度	果実障害果の種類			備考	へそ青症 (%)	へそ黒症 (%)	しなび症 (%)	2-4	0.0	0.0	0.0	温度35℃ 3時間処理 障害果の発生率は果実の完着時に調査	4-6	2.4	0.0	4.8	6-7	4.8	0.0	4.8	8	4.8	0.0	11.9	9	2.4	4.8	21.4	処理温度	着色程度	果実障害果の種類			備考	へそ青症 (%)	へそ黒症 (%)	しなび症 (%)	25℃	0-6	0.0	0.0	0.0	温度継続時間6時間	30℃	77.8	0.0	0.0	35℃	100.0	0.0	40.0	25℃	7-9	0.0	0.0	0.0	温度継続時間6時間	30℃	33.3	0.0	22.2	35℃	0.0	40.0	40.0
着色程度	果実障害果の種類			備考																																																															
	へそ青症 (%)	へそ黒症 (%)	しなび症 (%)																																																																
2-4	0.0	0.0	0.0	温度35℃ 3時間処理 障害果の発生率は果実の完着時に調査																																																															
4-6	2.4	0.0	4.8																																																																
6-7	4.8	0.0	4.8																																																																
8	4.8	0.0	11.9																																																																
9	2.4	4.8	21.4																																																																
処理温度	着色程度	果実障害果の種類			備考																																																														
		へそ青症 (%)	へそ黒症 (%)	しなび症 (%)																																																															
25℃	0-6	0.0	0.0	0.0	温度継続時間6時間																																																														
	30℃	77.8	0.0	0.0																																																															
	35℃	100.0	0.0	40.0																																																															
25℃	7-9	0.0	0.0	0.0	温度継続時間6時間																																																														
	30℃	33.3	0.0	22.2																																																															
	35℃	0.0	40.0	40.0																																																															
普留及意上の点	<p>1. 果実障害多発生の園では、袋中の温度が比較的上がりにくい袋を用いる。</p> <p>2. クラフト紙袋よりも新聞紙袋が温度は上がりにくい。</p>																																																																		